



社会福祉法人
福角会

令和2年度

子育て座談会



【日時】令和2年9月24日(火)

13:30 ~ 15:30

【場所】ラ・ルーチェ



令和2年度社会福祉法人福角会「子育て座談会」を開催しました！

この子育て座談会は、ワークライフバランスの取組みの一環として、結婚・出産・育児等を抱えた職員の仕事と家庭の両立の為にモチベーション向上を図ることを目的としています。今回は小学校就学前から小学校2年生までのお子様を持つ職員の方を対象に、就学時期の子育てについて、日頃感じていることを思う存分語り合っていました。4回目となる子育て座談会は、座談会初の男性職員も参加し、大いに盛り上がりました。その様子をご紹介します！！

スケジュール

所要時間	内容
10分	理事長挨拶 オリエンテーション ・スケジュール説明 ・自己紹介
50分	座談会 テーマⅠ「学校生活について」 小学生になったら大きく変わる環境について ～フリートーク～
5分	休憩
45分	テーマⅡ「子育ての悩み」 知りたいこと、気がかりなこと何でも・・・ ～フリートーク～
10分	写真撮影・アンケート記入 終了

理事長あいさつ



資料の中に法人のこれまでの取り組みが書かれていますが、時代の流れに沿って取り組んできたものと、積極的に制度を取り入れることによって、働く環境を変える先駆的な取組もあります。最近ではマタニティブルーとってお母さんの産後うつというのはよくありますが、お父さんの産後うつがあるそうです。私からすると子育ては50年以上も前の話になりますが、それぞれの時代によって違いがあるのだと思いますし、人生の節目において

は、「覚悟」というものがその時必要になると思います。家庭を持つことであったり、職位に就くことも同じで、そこでどういう風に自分が主体的に選んだり、対応しようとする心掛けに対して事業所などの周りがどうサポートしていくのかということが影響してくると思います。今日は、いろんなアイデアをいただいて、その節目を順調に乗り越えていただければと思います。ご自身が大変なことも分かりますが、周りと一緒にサポートしていく環境を自分たちもその一員として作っていただけたらと思っています。





～参加者紹介～



Aさん

年長児の女の子と4歳の男の子をもつ2児のパパ。

Bさん

年長児の男の子と小学校4年生のお兄ちゃんがいる2児のパパ。



Cさん

年長児の女の子と年少の男の子のお子さんを持つ2児のママ。

Dさん

小学校1年生と3歳の女の子を持つ2児のパパ。



Eさん

小学校1年生の男の子と中学生のお兄ちゃんがいる2児のママ。

Fさん

小学校2年生の男の子のほかに小学5年生と小学1年の3人のお子様をもつママ。



進行役G

小学校2年生と19歳の男の子をもつ母でもある。



以上の7名と、理事長および座談会をお手伝いさせていただく事務局のHで座談会がスタートしました。





フリートーク 「学校生活について」



小学校入学を控えたお子様をお持ちのパパママにとって、子どもの成長が喜ばしい一方で、これから始まる学校生活、ちゃんとやっ
ていけるかな？ とちょっぴりの不安があるかもしれません。

年長児のお子様を持つ方に伺います。

Q.小学生に上がるタイミングでの、両立への不安
や学校生活における不安などはありますか？



Aさん：

職場と下の子の保育園のお迎えを考えると、娘が入学したら学童が18時まで
なので、帰宅時間には不安があります。親が近くに住んでいるので、親が仕事
を変えてくれるだとか相談をしながら考えています。自分の勤務体系につい
ても上司と相談をしなければいけないと思っています。小学校1年生で家に一人
で居させるのは可哀そうだと思っていて、今だ解決していないので、何かいい
方法があればと思っています。



進行G：

帰宅時間については、
みなさん悩まれるところかなと思います。
小学校入って1か月くらいは、
帰宅時間が早く午前中授業で帰ってきますよね。

Aさん：みなさん、どうされていたのですか？

参加者：学童とかですかね。

Aさん：

自分のときは、学童だとみんなと遊べなかったもので、うちの子もそうなる
と可哀そうかなと思ったりします。

理事長：今は学童のお子様も多いですよ。

ほぼ働いている家庭だろうし核家族が多いですからね。

Bさん：学童によっても違いますよね。
堀江小の学童はいつもドッジボールをして、
楽しそうに過ごしていますね。





Aさん：じゃあ 20 年前の時代とは随分学童も違うんですね。

理事長：あまり可哀そうとかさみしいとかは
考える必要はないんじゃないかな。

Aさん：そうですね。そこで友達付き合いができたりするので、
そういう心配はないかもしれないですね。

進行 G：Bさんはどうですか？



Bさん：二人目なのであまり学校生活での不安と
いったものは感じていないのですが、忘れ物が多くて。
本人の性格的なものでの不安はありますね。



進行 G：ではCさんはどうでしょう？

Cさん：



私も自分の勤務時間をどうするかと、
保育園の校区が違うので友達ができるかなといったことや、
入学準備について何をしたらいいのか全くわからなくて、
まだランドセルしか手に入れていないですし、
何が分からないのかも分からないような状態です。

小学生になったらどう変わる？

「何が分からないのか」がわからない、就学の世界。特に一人目のお子様だとわからない事だらけ。小学校に上がると、具体的にどんなことが変わるのでしょうか。

【制度】

育児・介護休業等に関する規則おける時短勤務、時間外労働の制限、
深夜業の制限、子の看護休暇の利用については、小学校就学前まで

【生活】

集団登下校がある

下校時間が早い（学校が終わったあとの預け先の確保が必要）

学習がはじまり、宿題がでる（親のフォローが必要）

長期休暇があるため、特に夏休み中の預け先、お昼ごはんの用意が必要

保護者会、参観日、PTA活動、子ども会など親の参加が必要な行事や役割が増える

など





小学生のお子様を持つ方に伺います。
Q.保育園・幼稚園時代と小学生になってからの違いについて、
また、大変だなと感じたことがあれば教えてください。



Dさん：



今までは保育園が仕事に合わせてくれている感じがあったのですが、小学校になると学校に仕事を合わせないといけないと感じることが多くて。特に今年はコロナや災害もあって、休校になることが多く、児童クラブ中心になっていました。児童クラブもない場合は、両親で協力して交互に休むというような形をとっていました。

Eさん：



私は近くに祖父母がいなくて、主人と私で子育てしている状況です。警報など休校になると10時にお知らせがきて、上のお兄ちゃんはいるんですけど、男の子なので頼れないところがあって。何回も「大丈夫？」と電話してというようなことが、今回何度もありました。保育園は仕事に合わせてくれるのですが、小学校だとそういうところが大変だなと思います。

Fさん：急に休みになることがあると、私は幸い祖父母が近くにいるので、本当にありがたいです。祖父母がいなければこの仕事はできていないと思います。ほとんど任せているので、頼れる人が近くにいない方にとっては、仕事と育児の両立は本当に大変だと思います。小学校での違いというと、PTAです。仕事をしているからという理由は通らなくて、一人一役という仕事を何かできる範囲でいいからと急に言われても行けなかったりするので困ることはあります。

進行G：私は特に夏休みが大変かなと思います。
自由研究とか親が手伝わないとできないものが多くて。

Bさん：地域の子供会もありますよね。小学校の子たちが一番最初に集まって集団登下校の時間の打ち合わせとかそういった説明がうちの地区ではあって。そこに参加することから、地域付き合いがスタートするので、結構ハードルが高いなと感じたことはありました。

進行役G：保育園時代は、地域の行事も遊びに行くようなところから、小学校になるとメンバーとして参加しなくてはいけなくなるので、やることが急に多くなる感じがありますね。





知っていますか？「小1の壁」

学童期に入り、乳幼児期と比べると楽になるかなと思ったら、実は仕事と育児の両立は小学校に上がってから、より大変になると言われています。その象徴のひとつが、「小1の壁」。主に、共働き家庭において、子どもが小学校に上がる際、直面する社会的な問題を、『小1の壁』といいます。手厚いフォローが受けられる保育園時代と比べて、共働きを前提としていない小学校の仕組みもあり、働く親には新たな負担が加わることに……。



何が大変なの？

例えば、子どもが保育園のうちには延長保育など遅い時間までの預かり保育も利用できました。しかし小学生が通う学童保育は、保育園と比べて運営時間が短く、これまでと同じような働き方が困難になるケースも……

どうやって乗り越える？「小1の壁」

今後、起こりうる課題にどう対処していけばよいのでしょうか。



小学生のお子様を持つ方に伺います。

Q.これまでとは違う環境の変化に、どのように対処していますか？またはどう対処しましたか？

Eさん：主人と協力してやっています。

あとは仲の良いお友達にお願いして、送り迎えをお願いしたこともあります。主人の仕事がシフト制なので、ずらしてもらったりしています。



Dさん：

妻と協力して交替交替でやっています。だから事業所にもかなり迷惑を掛けていると思いますし、いろいろ配慮してもらっているなと思います。

進行 G：お友達など、親同士のネットワーク、つながりも大事ですね。

小学校に入るタイミングで制度なども途切れてしまうので、働きづらさなどもあるのかなと思います。こうなれば働きやすくなるのと思う事はありますか？



理事長：うちの娘のところは、学童がいっぱいで
2年生でかぎっ子でした。
まあ何とかなるものです。学童は地域に
よって全然違いますね。
学童は校区の学童に入らなければいけな
いというような縛りはあるんですか？

Eさん：学校から直接通うようになるので、
歩いていけるようなところになると
思います。



進行 G：民間との違いもあるようですね。
そういった情報収集は必要かもしれないですね。

先輩パパママに聞け！

小1の壁という言葉に漠然とした不安を抱いたひともいるのでは？

でも大丈夫。小学校入学を前に、分からないこと、知りたいことなど先輩パパ、ママに何でも聞いてみましょう。

Aさん：

きょうだいがいらっしゃる方にお伺いしたのですが、僕のところは女の子と男の子なんです。この間ランドセルを買いに行ったのですが、下の子に引き継がないものが多くて出費がすごいです。知り合いから譲ってもらったりするものもあるのですが、これからもっと増えるだろうと思うので、何か工夫とかあったら教えてほしいです。



Eさん：私はおにいちゃんのピアノカと
算数ボックスはそのまま使っています。



Fさん：

学年の空き具合によっては、譲れないものもありますね。

授業が重なるときがあるので。でも算数ボックスは

2年空いてらっしゃるのであれば、一つでいけると思います。

私も3人いて、下2人年子なんですけど、1つしか使っていないくて。

担任の先生に相談したら、足りないものは貸しますとってくれました。

なので一緒に使えるものもあります。

習字が始まったり、裁縫道具が必要になったりするので、
何年空いているかによっても違うかなと思います。





Aさん：あと女の子のものを、
下の男の子に使わせるのもどうかなと思うところもあります。



Fさん：今、習字道具とか裁縫道具とか
すごいいっぱい種類があって
びっくりしたんです。

Bさん：分かります。色だけではないんですよ。
絵柄がついているものがある。



Aさん：そうなんですか！？。

Fさん：友達とこれにすると決めてきたりするので。
無地とかを選べば使えると思いますけど。



理事長：今はマスキングテープとか色々あるから、
何とかできるんじゃないかな。

Aさん：要は工夫したいですね！！

理事長：職場にもたくさん女性職員が
いらっしゃるから、聞いてみるとい
いかもしれないですね。

Fさん：もしくは誰かに言ったら
譲ってもらえるかもしれないですね。



Aさん：そうですね。
帰って伝達ノートに書いておきます！！（笑）

理事長：制服とかは譲りますとか、そういった
リサイクルショップもありますね。

進行 G：もうすぐ入学前の説明会もあると思いますが、
準備物の購入では結構な金額が要ったかなと思います。



Cさん：私は、あれで何をかったらいいのかが分からなくて。
リストには全部要るって書かれているけど、
指定のものじゃなくてもいいものはどれなのか分からなくて。
例えば色鉛筆とか鍵盤ハーモニカとかネットとかで買えば安いもの
もあるから、果たしてどれをその時に買うべきなのかなと。





Fさん：指定は基本的には、
ないんじゃないですかね。



Bさん：文房具関係はなかったような気がしますね。
算数ボックスとか授業で使うものは、学校の先生がこれを基にと
言われた記憶があります。
授業で使うと決まっているものについては自由がなかったように思います。



Fさん：あとランドセルはギリギリに買うと安いですよ。

Aさん：日曜日に買っちゃいましたあ。



一同：(笑)

Fさん：でもこだわりがあってこれがいいというのが子どもさんにあったら、
早めを買っておかないと、売り切れてなかったりするんで、
こだわりがなければ2月とかに行ってその中から選ぶと
型落ちとかだと結構値下がりして安く買えたりします。
型落ちといっても中身の内容は変わってなくて、
見た目がちょっと違うだけなので。



Dさん：僕もギリギリに買いにいったらと欲しいのがなかったり、
軽くて良いのがほぼなくなっていて。

Bさん：横にハートの刺繍が入っているだけで、
値段が変わるとかありますからね。
ランドセルを縫ってる糸の色が違うとか。



進行G：入学準備と言えば、袋ものが結構要りますよね。
大きさを指定されるので大変かなと思います。



Aさん：自分で作れるとお金も
掛からないですね。

理事長：私は全部孫に作ってきましたよ～。
一同：おおー。

進行G：テーブルクロスも要りますよね。
机の大きさとサイズが決まっているので。

Aさん：そう考えると多いですね。

理事長：長期戦でいかないと。





進行 G：あと名前つけも大変ですよ。

B さん：おはじきとか一枚一枚いります。算数ボックスの棒とかね。



A さん：何か大変なこといっぱいありますね（苦笑）。

理事長：めげないでください！

A さん：ここに来ていい話しが聞けてないんで～（笑）
小学生って楽しいって思えるようなことないですか～

一同：（笑）



ここでちょっと一息。
ラ・ルーチェのお茶とケーキを楽しみながら、会話も弾みます♪



理事長：
ところでみなさんの
ところは、運動会はあるん
ですか？



参加者：あります。
半日でやります。

すると D さんから、
「A さん、学習机あまってるよ～。」

A さん：ほんとうですか？僕、買うのがあれなんで、
先週ベビーベッドを改造して作ったんですよ。
そしたら下の子が「僕のは～？」って。



進行 G：それいいですね～。

A さん：でも気づきますよね。友達のと違うって。



理事長：ほとんどが学習机では勉強しないのよね。リビングとか親の目の届くところで
するようになりますからね。



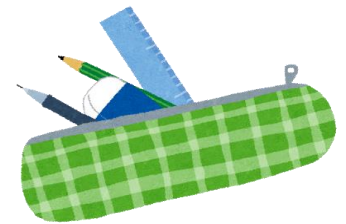
進行 G：
学習机はうちは買っていません。
上の子は主人のお下がりで
今もあるんですが、その時に机はいら
ないと思ったので。

Cさん：うちも買ってないです。

Aさん：買わないという選択肢もあるんですね。僕は下に2人兄弟がいるんですけど、
みんなあったので、あるのが当たり前だと思っていて。
まあ使うか使わないかは別ですけど。

進行 G：基本宿題は学童でやって帰るので、家で勉強すること自体、あまりないんです。
帰ってから勉強する子でもないし。死ぬほど勉強が嫌いみたいで（苦笑）。

Fさん：うちの子は線を引くのも面倒くさいみたい。
2桁の計算の線をものさしを使って引くのがもう面倒で。
そういう子を勉強させるのはどうしたらいい？（笑）
その先にゲームがあるから、やってる感じです。



フリートークII 「子育ての悩み」



同じ年代の子どもをもつ親同士、日々のお
子様との関わりのなかで、感じている不安、
気になっていること、抱えている悩みやモ
ヤモヤ、おもしろエピソードなど、ざっく
ばらんに語り合しましょう。





Bさん：

長男の忘れ物がすごくひどくて。

持っていったものを学校に忘れて帰ってくるんです。

明日の荷物を計画帳みながら確認すると、毎回「ないよ」ってことになるんです。この間、面談があったときにも担任の先生とそういう話になったと。そういった忘れ物対策ってみなさん、どうされてるのかと思って。

理事長：机の中のものを持って帰る習慣がないってことですかね。



Bさん：先生が言うには、机の中は空っぽにという話はするみたいなんですけど、「忘れ物が多いです」っていうお便りが小学校全体を通して出ていて、全体的に多いんだとは思ってたんですけど。

この間本人のランドセルに毎日持ってかえるものリストを作って貼り付けたんです。そうしたら1週間くらいは頑張ってくれたんですが、すぐけろっと忘れて。洗わないといけないものを忘れるので困っています。

Aさん：僕が小学生のときはテーブルクロスとか持って帰れといわれるんで、ランドセルに入れて持って帰るんですけど、どうせ汚れるっていう概念があるから出さなかったんですよ。次の日しわくちゃのテーブルクロスを引いても別に困らないんですよ。子どものなかで困らないことを理解してるからじゃないですかね。

Bさん：うちは男の子なんで、かわいいものを嫌がるんですけど、「今度忘れて帰ったらハローキティのスプーンとフォークを持っていかせるからね」ってやったら、ある程度の時期は持ったんですけどね。(笑)



一同：(笑)

Eさん：うちは下の子はあまりないんですけど、おにいちゃんは大変だったです。2年生まではとりあえず準備を一人でさせて、夜こっそり確認して、できてなかったらランドセルから全部出して、「できてない」って置手紙して。3年生からは、忘れてると分かってるんですけど、困ったらいいと思って困らせてました。そしたら先生に怒られたり、授業に参加できなかったりして、今はもうだいぶマシになりました。



Aさん：僕なんかは、体操着を出さなくて洗ってもらえなかったんです。そのまま体育で着たら汗臭くて嫌な思いしたんで、それからちゃんとお洗濯するようになりました。経験してみるといいかもしれないですね。

Bさん：じゃあ経験させましょう。ハローキティも経験させます(笑)

一同：(笑)





進行 G：他にありますか？

先ほどAさんが小学校はそんなに大変なのかと落ち込んでいますので、
楽しいエピソードなんかを聞かせてもらえたらと思うんですが・・・。

Aさん：いいこと、楽しかったこと、
来年楽しみだなと思えるような
小学校生活を教えてください！！



参加者：・・・・・・・・。

Aさん：「ないんですか?!」

Bさん：そうですね。(笑)

一同：(笑)

Fさん：楽しいというか、子どもが変わったというのがあります。

お姉ちゃんが引っ込み思案だったんで、1年生のときは、泣きながら学校に行くような子だったんですけど、友達や先生と出会っていろんな経験をして、ちょっとずつ自信もできてきて明るくなりました。人が変わったように生き活きして、今は学校が楽しくてしょうがないという感じです。

Aさん：輪が広がるっていいですね～。友達ができるとか、新しいつながりとか。

理事長：これから期待できる部分ですよ。

Aさん自身にも、お友達や子どもを通した知り合いが増えて、
子どもを預けたりできるような人ができて、そういった人との
関係性が広がっていくことを楽しみにしていくことですよね。



Aさん：プライベートで学校のお友達のお父さん、
お母さん達と遊びに行ったりすることはありますか？

Eさん：あります。

Bさん：僕もあります。



Aさん：そういうのに憧れますね。

保育園ではないんで、うらやましいなと思います。

理事長：大きくなって部活とかクラブとかに入ると、
それから手が離れなくなって、お付き合いも大変になりますよ。
でもそれがまた生きがいになったりしますからね。

進行 G：お子様は何かされてますか？

Eさん：

私のところは二人ともサッカーをしています。





進行 G：そのつながりでお友達づきあいが？

E さん：そうです。

進行 G：うちも子は習い事とかそういったことを何もしていないので、何か興味を持ってくれば良いと思ってんですけど、今はゲームにしか興味がないみたいで。皆さん習い事とかされてますか？

B さん：うちはスイミングとスポ少で野球をしています。



C さん：私は二人ともスイミングに行っています。体力がつくって聞いたことがあったし、身体が丈夫になってくれたらいいなと思ったのと、小学校に上がったなら全く知らない環境に飛び込むことになるので、その前段階として、全然知らない子の中に入って一緒に活動することができるという経験をさせるため習い事は何かさせたいと思って。興味を持ったのがスイミングでした。コロナの中ではどこにも行けないので、今はスイミングが一番の楽しみになっています。

進行 G：今のコロナ禍において、
みなさんおうちではどう過ごされていますか？

一同：ゲームでしょ！！

F さん：子どももすごくストレスがたまっているみたいで、
しょっちゅう兄弟げんかしています。



進行 G：うちもゲームばかりしているから、どうしようと思って。

F さん：でもそうしかないですね。だめとって時間決めてても、その時間終わったら「何したらいいん？」ってなるし。

一同：そうそう（笑）



C さん：小さいうちは、おもちゃがあれば永遠に遊んでくれて、家の中にいてもそこまでつまらないってことはなかったんですけど、大きくなったら何したらいいか分からないです。





Fさん：もうゲームですよ。時間決めてやってもその時間が終わったとたんに
 子：「つまらん。何するん。」
 母：「じゃあ勉強したら？」って。
 またうるさくなってきて、しばらくして、
 母：「じゃあ、やったら」の繰り返し(笑)。
 子どももかわいそうだなと思いますね。

理事長：お友達同士の行き来は
 コロナの関係でさせてない感じですか？

Fさん：私はそもそもやったことなくて。
 普段働いているんで親御さんのことも分からないし、
 やっぱり知り合いになってからじゃないと迷惑掛けてもいけないというので、
 行かせたことがないです。
 いつまでもそうするわけにもいかないという心配はあります。

進行 G：友達づきあいも悩むところですよ。
 他の方はどうされてますか？



Bさん：うちは行き来しています。

理事長：うちの孫は、お互い留守のところに行くし来るして、
 とんでもないことになってたと聞きます(笑)
 まあそれも経験のうちかなと思います。

Fさん：行き来させるタイミングも分からないです。

理事長：お母さんがいないといって夜中尋ねてきたこととか、
 遊びに来た子がゲームを取って帰ってたようなこともあったみたいですけど。
 そういう経験を親もしながら何とかくぐりぬけているみたいですけどね。
 子育ても時代とともに変わってるなと感じます。

進行 G：コロナ禍においては、1年生のお子様は学校とか行事もなくなって、
 学習面とかお友達との関係とか不安に感じることはないですか？



Dさん：行事はほとんどないですね。学習面は、公文には行ってたのと、
 意外と勉強は好きみたいで。

一同：「ええ〜！」





Dさん：遊ぼうといっても、勉強したり絵を描いたりしてるんで、学習面では心配していません。ただ字がすごい汚くて。どうやったらきれいに書けるのかなと。いがんでたり、この中に書くように言ってもはみ出でたり。学習帳に時間割を書いたら、先生から多分みんな花丸だったり丸だったりもらえると思うんです。でもうちの子は赤い点がちゃんと付いてるだけなんです。ていねいに書こうって。

一同：(笑)

Fさん：女の子だったら、そのうち気にするようになるんじゃないですかね。

Cさん：小学校1年生ってどのぐらいのレベルが必要なのかなと思います。字は書けるし、簡単な足し算引き算はできるけど、自分でドリルとか買ってきて、勉強させたほうがいいのかなとか分からないですね。

Fさん：うちは3人いるけど、3人とも勉強面はそれぞれ違って。特に1番下の子は3人目だから、自然に覚えるだろうと思ってたんですけど全く覚えなくて。コロナの休みの中でおばあちゃんが教えてくれて、読み書きができるようになりました。普通に読めて書けるのなら、全く問題ないです。



進行G：うちは漢字の書き順がでたらめでびっくりして。普段は学童で宿題もやって帰るので、目にするのがあまりなかったんですけど、夏休みの宿題やってたときに気が付いて。絵を描くみたいな書き方するので、ちゃんと見てあげないといけないなと。

理事長：読みは分からなければ、聞いて覚えるけど、書くことは、それを見たら何となく書けるから、書き順は覚えられないんです。学校で書き順を教えてくれるときに、注目して聞いてくれてたらいいけど、なかなか集中して聞いてないですからね。

進行G：そうなんです。先生の言うこと聞いてないんだろうなと思って。

理事長：書き順っていつまで言われるんでしょうね。

Dさん：書き順ってきれいに書くためにあるんだと思うんで、うちの子はきっと書き順が合っていないんだと思ったら、完璧にあってるんです。「いち、に」って言いながら書いたらいいんよと教えて、ちゃんとそうしてるんですけど、汚いんです。

一同：(笑)





Aさん：

うちの子は自分の名前を下から書いてて。「でも読めるやん」って。なってたんですけど、自然になおりましたね。お手紙にもなまえをきちんと書いています。

進行G：

女の子は年長さんくらいになるとお手紙のやり取りをするので、字もおぼえますよね。男の子はそういったやり取りがないから、入学前もうちの子はほとんど字を書いたりできなかったです。

Cさん：そう。女の子からの手紙しかもらってこないですね。

事務局H：小学校の先生がひらがなにすごく厳しくて。どんなに書いてもなかなか〇をくれないんです。テストのときもちゃんと書けてないとはねられて。でも字がきれいかって言われたらそうではないので、きれいに書くように教えてもそうはならないと思います。ひとが読めるように書かないと合ってるのに間違いだと思われてはねられることもあるよってということだけ教えてあげたらいいと思います。それ以外は押し付けたりしなくても自然にかけられる様になると思います。あとは自由に書かせてあげてください。

一同：納得



進行G：そろそろお時間になりましたが、最後にどなたかありますか？

理事長：毎日学校に行ってくれていること、それだけでありがたいと思うことですよね。





参加者からの感想

自分が悩んでいることへのアドバイスを頂き、さっそくできることから進めてみようと思います。

同じ年代の子どもを持つ親同士、子ども達の様子やちょっとした悩みなど、雑談をまじえて色々な情報を共有できたのでよかったです。

法人研修としてグループに分かれて行っても面白いかも。

今後もみなさんとお話することで、思いを共有し、子育てと仕事の両立を頑張りたいと思います。

参加している職員のこどもの簡単なプロフィールがあると会話のきっかけになってよかったかな。

同じ法人内で仕事のことを抜きにした会話ができて新鮮でした。子育てについてもいろんなことをきくことができました。

同じような悩みがある人がいることを知れたので、また次回も参加したいと思いました。
同じ仲間として知り合えるきっかけにもなってよかったです。

入学前でわからないことや不安なことが多い状況だったので、みなさんのお話を聞いて” そうなんだ” と思えることが多く、貴重な情報をいただける機会をつくって下さったことをありがとうございます。

とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。また機会があったら参加したいです。



就学時期における様々な疑問や悩みに共感し合い、また体験談やアイデアをくれる仲間の存在は偉大です。仕事と家庭の両立のうえで、子どもの成長とともに立ち上がる壁をどう乗り越えるのか。仲間とともに知恵を出し合い、励ましあいながら「覚悟」をもって挑みたいものです。

「働きやすい環境」を目指し、取り入れた制度が定着した今、その制度が時代の流れとともに変化する環境に対応しうる仕組みであるのかどうか、今一度確認する必要があると感じています。「働きやすい環境」から「働き続けられる環境」へと、皆さんとともに考え、取り組んでいきたいと思えます。

